

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16 23 24 27 36	入居者の方の日々の変化やBPSDに対し、職員個々が臨機応変に対応していくことは難しい現状にある。その為には、職員一人一人が自由な発想を持ち、自ら考え行動し実践する事が望まれる。	認知症の周辺症状等について学びを深め、介護技術の向上やコミュニケーション能力・気づく力を高め、専門職としての魅力や喜びを見出す事ができる。	①認知症及び認知ケアについての勉強会を開き、職員が困難と感じている事例を出し合い、職員自らが解決策を見出していく。 ②会議や日常のケアの場面で、自由な意見や発想が出やすい雰囲気づくりを行い、考えを実践し成功できた時の喜びを感じて共有化できる。	12ヶ月
2	26 27	認知症ケアのキーポイントとなるチームケアを高めていくためには、職員個々のアイデアや想いを共有化していくことも重要である。入居者個々のケアの在り方について職員相互の考えや想いを理解し実践に繋げていく必要がある。	職員個々がお互いの違いを理解し受容する関係を構築することでチーム力を高め、質のよいケアを実践することができる。	①職員個々の良い所を認め合う「褒め褒めカード」によって、自分自身を認める喜びを感じてモチベーションを高めていく。 ②職場内ミーティングを定期的に行き、お互いの想いを言葉にすることで、それぞれが感じている事を理解し共有し、チームケアに繋げていく。	12ヶ月
3	3	地域密着型サービス事業所としての地域貢献活動は、日々のケアが優先されるため職員個々が主体的に参画することは難しい。	職員個々がグループホーム職員としての自覚を持ち、地域貢献活動がなぜ必要なのか、地域の人々が求めているものは何かを理解し、実践に結びつける。	①職員個々が主体的に活動できるように地域連携係を設ける。 ②「ルルドカフェ(認知症カフェ)」や運営推進会議等に参加し、ご家族や地域住民の方々と積極的な意見交換を行う。	12ヶ月
4	26 27 48 49	ご家族からのアンケートに入居者が戸外に行きたいところへ出かけていない。入居者個々の状態に応じた活動メニューを望む等の声がある。職員としても入居者ご本人が日々の暮らしの中で、希望に沿った外出や、楽しみがあり充実した生活をおくっていただけているのか試行錯誤している。	ご家族と職員が入居者を共に支え合うという関係作りに取り組み、入居者ご本人の楽しみごとや外出支援等については、個別計画(ケアプラン)に具体的に掲げていく。	①ご家族に対してケアプラン作成時に事業所の取組について事前に説明を行い、理解と協力を得る。 ②入居者ご本人の望む生活について意向を聴き取り、職員間で情報を共有化しケアプランに反映させる。 ③家族会を発足し、ご家族それぞれの想いを聴き取る場を設け、職員との交流・意見交換によって日々の運営やケアに活かしていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。